

川辺地区合併協定調印式

11月7日に新市誕生へ



合併協定書を手に写真に納まる各首長ら
＝加世田市のふれあいかせで

加世田市、笠沙・大浦 町からなる川辺地区合併協議会(会長・川野信男・坊津・金峰町の1市4

加世田市長)は24日、加世田市のふれあいかせで新市誕生へ向けた合併協定調印式を、大勢の関係者が見守るなかで行った。

調印式には、各首長をはじめ同協議会議員、各地区自治体代表、また来賓として伊藤祐一郎県知事、地元選出の本坊輝男県議と衆・参国會議員(代理)、管内地域住民らが出席。冒頭、合併協定調印に至るまでの経緯が報告された後、全員が見守る中、5市町の首長が次々に協定書にサイン及び押印。次いで、特別立会人でもある伊藤知事が署名し、

「南さつま市」としての5市町による合併協定が結ばれた。

署名後、挨拶に立った川野会長が「今日を迎えられたのは多くの関係者の方々のおかげ。南さつま市まちづくり計画にのっとり、自然・人・文化の交流を図れる魅力的なまちづくりに努めていきたい」と合併に対する決意を述べた。

続いて、来賓を代表して伊藤知事と本坊県議が「本県では、今回の川辺地区合併協議会が16番目の調印を終えた。これからも、農業・漁業それぞれの地域特性を生かした新しいまちづくりに努めていきたいと思います」「この日を迎えるまでには、極めて厳しい道のりであったと思う。これからは互いに手に手をとって、一人は皆のために、皆は一

県産廃協会医療廃棄物部会

県に周知徹底要望へ



医療廃棄物への税導入について議論した部会
＝鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で

県産廃協会医療廃棄物部会(下田勝利部会長)は23日、鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で第2回医療廃棄物部会を開き、4月1日から導入される産業廃棄物税に對して現状と今後の対策について活発に意見

人のためにという気持ちを持って、皆で喜び合える11月7日を迎えられる「南さつま市」の誕生に心を祈念したい」と祝辞を寄せた。

心にとまざまな審議・協議を継続する。

新種子島空港ターミナルビル 工事の安全を祈願

18年3月に開港する新種子島空港のターミナルビル建設起工式が22日、熊毛郡中種子町の現場で行われた。約70人の行政、工事関係者らが出席、来年1月の完成へ向けて工事の安全を祈願した。

冒頭、下田部会長が「まもなく税が導入されるのを覆すのは難しい。ただ医療廃棄物に対する産廃税の矛盾も多く、是正してほしい点をこれから詰り強く交渉していく」と述べた。

きたい。皆さんのご意見を賜りたい」と挨拶。

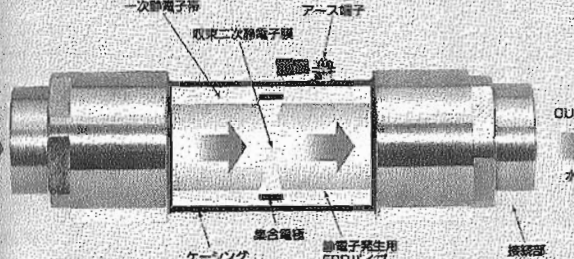
協議では、下田部会長から県内のみならず九州各県の現況について報告がなされた後、出席者からは1人当り最終処分場への搬入1000円、焼却施設へ800円が課税される産廃税の仕組みについて「制度自体が大量廃棄されることを前提に設定されている」「排出事業者となる各医療機関から出される医療廃棄物は重量が少ない」「何円何銭という税を徴収するために多大な経費がかかる」といった意見が相次いだ。

県に対しては「周知徹底を図るのはわれわれの仕事ではなく行政の役目。広報紙でのPRだけでなく、コマーシャルなどを通して徹底した周知を図ってほしい」「早急に県内の医療関係者に対して産廃税の仕組みを説明してほしい」など意見が多数出され、県産廃協会事務局を通して要望することを確認した。

イオン活水器「スピリオン」
脅威の浄水効果を発揮

ハウジング大木

水冷システムでのスケール付着やさび、スライムを防止する静電場活水器「スピリオン」の代理店として公共施設から工業用の水処理の販売を展開、無公害水処理器でランニングコストの低減につながったと好評を博している。特に工業用では全国シェアの7割から8割程度を占める。カルシウムやマグネシウム、シリカ濃度の高い本県においては学校等の公共施設や老人ホームなどの施設で導入されている。



スケール対策からさび予防など、配管の延命につながるものと、期待されている。

同商品は、既存の設備を一新することはもとより、工業用の水処理として給水ラインや循環ラインなどに活水器をつけることで、スケール、さび、スライム防止などに画期的な効果を発揮し、従来の薬品などでの維持管理等の手間もいらず、環境保全の観点からも注目を集めている。実際、全国の学校施設などでも採用され、赤さび防止につながるなどのほか、マンシヨンの高架水槽などに設置することで水質改善が



無事故無災害を祈念する関係者
＝中種子町の現地で

また、スライムが付着することでレジオネラ菌などが発生している。実績を有している。

なお、日本をはじめ、米国や欧州などでも特許を取得しているほか、日本水道協会の認証登録を得た、信頼される商品。環境問題が叫ばれる今日にあっては、薬を使用せず、外部エネルギーが不要で、メンテナンスコストが低く、ハウジング大木

安心システムで21世紀の豊を追求する

株 南 栄 技 研

鹿児島市中山町1406-1 (099) 260-6100
鹿児島市西光寺前118-10 (099) 43-2972
川内市高城町1688 (099) 27-1936
鹿屋市東原3172-6 (099) 40-9360
鹿屋市東原1720-18 (0985) 30-9680
八代市上片町1351-1 (0985) 35-4878
都城市都北町7411 (0986) 38-6120
東臼杵郡門川町大字加草字深迫616-1 (0982) 63-5458
鹿本郡植木町亀甲字西池上2074 (096) 273-3666

曳家(ひきや)工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事

株式会社 大城

県知事許可(特-12)第4087号
本社 鹿児島市宇宿町1955-1 (099) 275-3600(代)
下荒田事務所 鹿児島市下荒田1-18-2 (099) 254-3938 番

ストランや売店、管理事務室などを設置する。完成予定は18年1月下旬。総事業費は約4億3000万円。

施工業者等は次の通り。

設計監理(株)クリエー
ト山本設計室(株)建築本
(A工区) 久永建設(株)
(南平山建設(株)中組
JV、同(B工区) 米
盛建設(株)藤田建設興業
(株)和和人組JV電気
設備(株)九電工、空調設
備(株)テクノ冷熱(株)給排
水衛生設備(株)新栄設備工
業(株)